

健康管理士一般指導員活動事例取材シート

健康管理士番号	H - 25997
お名前	高田 恒夫
性別	男
年齢	76歳



なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

私は高校2年生の時に、健康診断で右肺尖部に結核の浸潤を指摘され、気胸を3年続けました。その後42歳の厄年に、医者よりポックリ病で何時死を迎えてもおかしくない、62歳で前立腺異常発見、70歳で狭心症で心臓にステント挿入、その間催眠療法、気功、座禅、東洋医学のベジタリアン療法など、手を尽くしてきました。年齢的にも、これらの諸知識と近代医学の知識を整理し、勉強する必要性を痛感し、資格修得が近道であると考えました。

健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

受験対策講座の通信教育を受講し、整理された知識の勉強ができて非常に有益性を感じています。しかし、私の仕事は全く異分野であったために、ときに多忙に任せ勉強が中断し、あきらめようと思った事が何回かありました。しかし、せっかく意を決し、自分の体弱を正し、身近に病気がちの人々が多いですが、意外に正しい知識不足である事に気付き、健康管理士資格を修得し、助言ができればとの信念で、試験は3回挑戦し、やっと取得しました。

健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

私は、現役で少しばかり仕事をしています。仕事の関係者、同窓会、郷土の会にて、私と同年代の方、先輩、後輩がいかにか自信の健康管理に無関心か、また持病に対して不正確な知識で対処しているか、議論すればすぐに判るようになりました。

まず、身の回りの近い方々の健康な生き方に対して助言して、せっかくの健康管理士資格に恥じない諸方策を知識を深めながら進めたいと思っています。

その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

自分のため、近しい人々のため資格を有効活用するために、協会では2ヶ月に1回の「ほすぴ」や「セミナー」は、最高の刺激になり、知識が整理され、深められ、頭の中が活性化されて、常に離れがちな健康、保健の知識が再起され、大変助かっています。

「ほすぴ」では、講座で学んだ総論から、各論への知識を学び、実際の現場で活用でき、大変有効に利用させて頂いています。